



田彦

Community TABIKO

第69号

H29.3.25 発行

■編集・発行
 田彦中学区地域づくりの会・広報委員会
 TEL.029-274-5222 FAX.029-276-1609
 〒312-0063 ひたちなか市田彦950-128
 田彦コミュニティセンター内



第1回

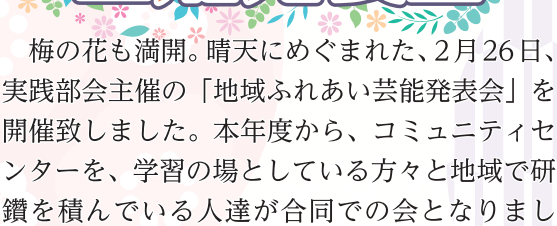
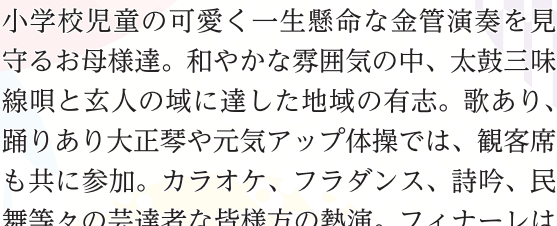
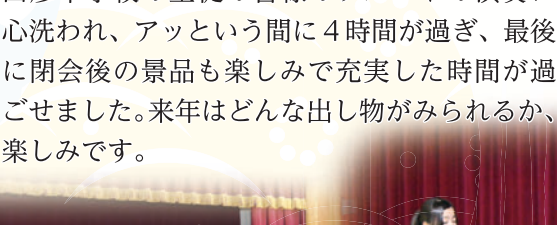
地域ふれあい 芸能発表会



梅の花も満開。晴天にめぐまれた、2月26日、実践部会主催の「地域ふれあい芸能発表会」を開催致しました。本年度から、コミュニティセンターを、学習の場としている方々と地域で研鑽を積んでいる人達が合同での会となりました。フォークダンスで華やかなスタート。田彦小学校児童の可愛く一生懸命な金管演奏を見守るお母様達。和やかな雰囲気の中、太鼓三味線唄と玄人の域に達した地域の有志。歌あり、踊りあり大正琴や元気アップ体操では、観客席も共に参加。カラオケ、フラダンス、詩吟、民舞等々の芸達者な皆様方の熱演。フィナーレは田彦中学校の生徒の皆様のフルートの演奏に心洗われ、アッという間に4時間が過ぎ、最後に閉会後の景品も楽しみで充実した時間が過ぎました。来年はどんな出し物がみられるか、楽しみです。















講演の冒頭、今は記憶の時代となった？戦前から戦後の昭和から現代に到る、日本社会の政治・経済の変遷が我々の生活様式や家族構成を変えたかの説明

当日は100名を超える地域の皆様に参加下さり、先生の豊富な知識と、巧な話術に魅了され時間を忘れる貴重な講演となりました。

2月5日(日) 田彦コミュニティセンター研修室においてクッキングスクールネット主宰の根本悦子先生による「食文化が伝えたかったもの」と題し、青少年指導者研修会を開催いたしました。



がありました。昭和30年代池田内閣の「所得倍増計画」によりそれまでの大家族構成が、核家族へと移行。昭和39年に行われた東京オリンピックでは、欧米諸国の選手と日本人の体格の差を今以上に実感する事となり、「タンパク質が足りないよ」をキャッチフレーズに体の基礎である筋肉強化のため牛乳や肉を食べる事が推奨され、体格も良くなっております。

ただ、核家族になったことは、姑から嫁、母から子へと脈脈と伝えられた、その家・地域の「食文化」が薄れて来ています。

講演の冒頭「その人の味覚は6歳までに決まってしまう」と語っておられました。

さて「食文化が伝えたかったもの」「旬の食材」で料理した食事が、化学的にも理にかなっていることを教えて頂きました。

「旬の食材」を組み合わせた食事「面々と伝わる料理」「家族一緒に団欒」は体の健康、ストレスの無い日々生活の活力を生み出すことを熱く語っていただきました。

改めて食事の大切さを実感し痛感致しました。

講演の最後に教室のスタッフの皆様が用意して下さいました試食のお弁当を頂いて閉幕。

本当に御馳走様でした。



意義ある訓練になりました。

火の消し方は火元より上を交互にしなが前に進む等

○初期消火：迅速に

○避難誘導：利用者を安全に

○消防署への通報：住所・建物の名前・出火場所・初期消火の有無等を通報

○救急救命処置とAEDの取扱

○消火器の使い方

(1)緊急時の連絡網の確認

避難通路の確認

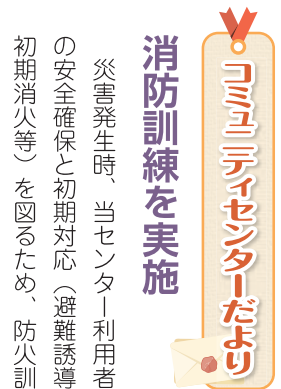
(2)センター防災設備及び機器等の取扱説明(ミナト防災から)

(3)消防訓練

災害発生時、当センター利用者の安全確保と初期対応(避難誘導初期消火等)を図るため、防火訓練を通じて職員の統一した対応を図ることを目的に、平成28年12月19日(月)消防訓練を実施しました。

参加者はセンター職員全員・夜間・休日に携わるシルバー人材センターの職員を加え9名でした。

実施内容



平成29年度 ひたちなか市生涯学習講座(前期 5月~9月開催分) 田彦コミュニティセンター開催分のお知らせ



講座No 961 **親子でタッチケア&ヨガ** **全4回**
— 触れ合って絆を深めよう —

開催日 5/17 6/7 7/5 9/6
時 間 10:00~11:30 * 2歳~未就園児と保護者

★定員：15組30人★ ★参加料：無料 ★教材費：600円

講座No 962 **楽しいコーラス** **全7回**

開催日 5/25 6/8 6/22 7/20 8/24 9/14 9/28
時 間 9:30~11:30

★定員：20人 ★参加料：700円 ★教材費：無料

講座No 963 **知って納得暮らしの講座** **全6回**
— 水と人との関係を学ぼう —

開催日 5/29 6/5 6/26 7/3 7/24 8/7
時 間 10:00~12:00

★定員：20人 ★参加料：600円 ★教材費：500円

【往復はがき記入のしかた】

返信の裏面		往復の裏面	
52円切手 3120045 往復 生涯学習センター	(記入不要) ※抽選結果を印字します。	52円切手 □□□□□□ 返信 〈申込者〉 住 所 氏 名	①講座 No. ②講座名 ③開催場所 (〇〇コミセン) ④氏名 (ふりがな) ⑤年齢・性別 ⑥郵便番号 ⑦住所 ⑧電話番号

申込期限… 4月17日(月) 必着
※往復はがきは、1講座につき1人1枚

お問い合わせ 生涯学習センター
☎029-272-6301

※「親子」を対象とする講座No.961は下の必要事項も記入してください。

⑨子の氏名(ふりがな)
⑩子の性別
⑪子の生年月日



はじめようエコドライブ!!

環境部会の今年度最後の行事である環境講座として1月15日、茨城県環境政策課の齊藤室長補佐を講師に迎え「はじめよう!エコドライブ」という内容で講義を受けました。



エコドライブは、省エネ運転であり、そのポイントとして

ました。

その中で「ゆるやかな発進」「ゆるやかな停止」は、省エネになると同時に安全運転にもつながるという有意義な講座でした。

この環境講座に、地域の皆様の御協力のもと、82名の参加がありました。

この講座「エコドライブ」のポイントの一つでも皆様に協力していただける事を願っております。

〔環境部会〕

ふれあいスキー報告

冬休み中の1月7日、今年度もふれあいスキーを実施。場所は福島県グランデコスノーリゾート。小5〜中2男女48、スタッフ(ボランティア)32、計80名の参加となった。当日の天気は粉雪ちらつく曇り。

8時前、スキー場に到着。ソワソワする子ども達を抑えつつ、準備運動後にレベル毎の班で指導開始。板の付け方から始まる初心者班は午後にはリフトで移動、上から滑り降りるまでに成長。経験者班はスタッフと相談してコースを決め滑走。



途中、ケガ・疲労で休憩する子どもも無く、昼食もしっかりと食べ、集合時間ギリギリまで楽しめたようだ。

その様子は写真でも一目瞭然。図書館で閲覧可。コミセンまつり掲示、持帰り可。

〔青少年部会〕

ノルディックウォーキング体験会開催

「ノルディックウォーキング」とは、2本のポールを使って歩行運動を補助し、運動効果をより増強するフィットネスエクササイズ



ズの一つです。今回は、体験会として、2月11日に26名の参加で開催しました。指導員として、

スポーツ推進員でノルディックインストラクター3名を招き、ストレッチ、歩き方の指導を受けた後、大島公園周辺約3kmのウォーキングを行いました。

短い時間ではありましたが、楽しく体験できました。

参加者からは、ポールの種類や値段、どこで体験できるか等、沢山の質問が出て、興味深く感じていただきました。

体育部会の施策として、10月にノルディックウォーキングを予定していますので、ぜひ皆さんご参加下さい。楽しくウォーキングしましょう。

〔体育部会〕

交通安全大会

2月12日(日) 第18回交通安全大会を実施致しました。

高齢者の交通事故多発・警報の発令記事が散見される。人生の集大成を飾ろうとする高齢者に、加害・被害に拘わらず、悔しく残念な思いをして頂きたい。

登校中の列に車が突っ込む痛ましい事故。未来に向かって羽ばたく新入学児童・親御さんから、夢を奪って欲しくない。そんな思いで交通安全協会石鳥事務局長、市役所生活安全課 交通安全教育指導員をお迎えし、「高齢者の交通事故防止」と「入学児童交通安全教室」を同時開催しました。

成人119名・児童55名の多数の参加で、地域の皆様の交通安全に対する関心の高さを示して頂き、大盛況の安全大会となりました。



参加者からは「とても有意義な講演だった」の声が多く、これからも継続したいと思います。

〔安全福祉部会〕

古墳時代を探る!

3月12日、「東日本を代表する古墳群と、埴輪群像から古墳時代を探る」をテーマとして文化教室を実施しました。内容は、群馬県高崎市のかみつけの里博物館とそれに隣接する保渡



田古墳群及び観音塚考古資料館の見学です。かみつけの里博物館には、

東南麓から出土した埴輪や、古墳時代の資料が数多く展示されていました。そして保渡田古墳群では、復元された八幡塚、二子山の前方後円墳を見ることができ、その壮大な姿に圧倒されました。

また、観音塚考古資料館では同じ敷地にある東日本最大といわれる横穴式石室からの出土品が多数展示されていたほか、その石室に入ることもできました。

古墳や出土品を見てその時代の豪族の力をしのぶとともに、当時の高度な技術や美術的感覚の見事に眼をうばわれる一日となりました。

〔文化部会〕



意味の違う忘年会

大島公園西 米田 孝司



忘年会で同席した人との楽しい会話が、いつものまにか若い頃の話になった。

た。隣人はプリプリの身や出汁のきいた雑炊などアンコウ鍋に関わる昔話をおいしそうに話し続けていた。一方、横浜育ちの私が話せたのは、中華街のシューマイの昔話である。街の中心に居た従兄のお土産はいつもシューマイ。友達と通学途中に買って食べたのもシューマイだった。今では、どこでも食べられるシューマイであるが、横浜名物のシューマイはどこかが違いウマイと感じるのである。今回、酒の席で久しぶりに中学時代の忘れられない思い出をふつと鮮明によりみがえさしてくれた。とてもありがたい忘年会になった。



元気アップ体操を通して

田彦東 今村 智子



昨年の四月から保健推進員としてお手伝いしています。健康づくり歩く会

や田彦コミセン祭の体組成計の測定、毎月二回行われている元気アップ体操があります。体幹を鍛えたり柔軟性を高める体操の他、ゲームや脳トレも組み入れて楽しくできています。

体操は無理なくゆっくり個々に合ったやり方で行なっているのと和気あいあいとした雰囲気の中で行われます。またゲームや脳トレもつい熱中し思い通りにできない時でも皆さん笑顔で楽しんでいきます。ご一緒する人達との会話も弾み、次回再会を楽しみに別れます。多くの方々が気軽に参加されますよう願っております。

地域とのふれあい

田彦西 藤咲 邦夫



この度、私が班長をお引き受けして早いもので一年が過ぎようとしています。

これも先輩の方々の御指導があったからです。行事の一つ、待ちに待った敬老会。多くの先輩、同輩に出会い、皆々様と共に、談笑し、

班長に選出されて

西大島 山田 謙司



就職時に縁があつて、勝田市（現ひたちなか市）に住むことになり、25年が

経ちました。25年間は、会社勤め中心の生活で、退職前の5年間は、東京での単身赴任生活を経験しました。一昨年に退職し、一息つくも、昨年は班長に選出され、自治会活動に係ることになりました。

自治会活動に関しては、全く理解しておりませんでした。活動に参加して、種々の行事等の実施で住民同士の親睦を図っていくことが、住み良い地域を形成するためには、大切であることを徐々に理解することができました。あと一年間の任期が残っておりますので、微力ながら、積極的に活動に参加していきたいと思えます。

共存

堂端 小野 俊雄



動物界では、雄と牝の習性を表現する諺に、雄は、群るを嫌

いを好む、が有ります。この諺は、人間界にも、当て嵌りそうです。退職された大方の男性は、地域との関わりが、少なかった事もあり、地域との交流が苦手の様です。男性の多くは、他人に迷惑を掛けな

い単独行動を好みがちです。地域の行事に、参加しては、如何でしょう。男子たる者、たまに参加し、群れる事で、新しい発見に、出会うかも！

我街は、また歴史の浅い街です。これから、我々が、育てていく街です。我々熟年世代が、故郷を想い、懐かしく語るように！我街にも、故郷として誇れる様な、有形・無形の資産を残したいものです。

編集後記

梅のかぐわしい香りの中、ぼたん雪が降ってきたり、花粉がとんだりと、三寒四温が続きそうです。季節の変わり目のこの時期に、「コミュニティ田彦69号」をお届け致します。御意見・御感想・自由投稿等お待ちしております。



クールでも最優秀賞を七回受賞しております。今年も暖かくなるこれから、花の苗植えや、手入れ等の作業が本格化します。色取りどりの花が目にも優しく、心を和ませてくれる「うなぎ溜花壇」を見においでになります。ボランティアの募集もしております。作業は例年、三月から毎週日曜日の午前九時から十二時頃迄。御参加お待ちしております。

